

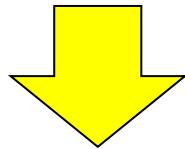
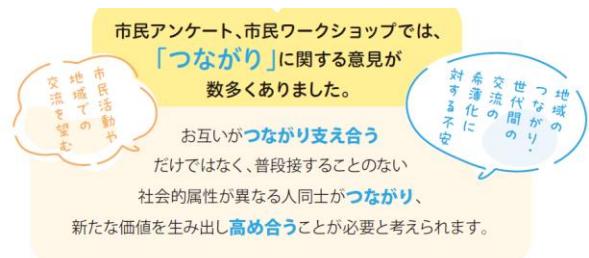
第6次総合計画〔概要版〕

総合計画とは、これからの中の10年間（令和7年度～令和16年度）、茨木市をどんな「まち」にしていくのか、そのためにだれが、どんなことをしていくのかということを、総合的・体系的にまとめたものです。また、市の福祉や都市計画、環境など、すべての計画の基本となるもので、いわば、将来における茨木市のあるべき姿と進むべき方向を示した、「道しるべ」だと言えます。

計画策定の背景

● 市民の想い

市民と将来像を共有し、その実現について取り組んでいく総合計画とするために、令和5年度に市民アンケート、市民ワークショップを実施し、市民の皆さまの想いを踏まえて、基本構想へとつなげました。



● まちの将来像

計画策定にあたり整理した魅力やこれまでのまちづくりを踏まえ、共創のまちづくりを進め、みんなが多彩な幸せを実感できる持続可能なまちをめざすため、次に掲げる7つの分野において、茨木市がめざす将来像を設定することとします。

また、各分野における将来像は一つではなく、複数設定しており、多様な価値観のもと、多様な主体が活躍できるまちづくりをめざします。

なお、全ての将来像がその分野の中で完結するのではなく、全ての将来像が有機的につながり、横断的・複合的な視点を持つことで、各将来像が示すまちの姿をめざすこととします。

